

研究課題名：新生児マススクリーニングの使用済み紙血を用いたメチローム解析

島根大学医学部附属病院小児科では、次の研究を行います。

1. 研究の目的

新生児期のマススクリーニングという検査で使用した廃棄予定のサンプルを用いて、様々な「病気のなりやすさ」を決めると考えられているエピゲノムを調べます。エピゲノムは、性、年齢、遺伝的背景、生まれた後の環境などによって少しずつ異なります。この研究では、病気との関連を調べるため、健康に生まれた時のエピゲノムを調べて、新生児の DNA メチル化の参照データをつくることを目的とします。

2. 研究の意義

本研究によって、健康な新生児の偏りのない集団から得られた日本人のエピゲノムの状態が分かれば、日本人における病気および病気のなりやすさに関する問題の解決や、生涯にわたるヘルスケアに役立てる上での大きな貢献が期待できます。

3. 調査する情報の内容

本研究では新生児マススクリーニング対象使用し、2年以上保存したあとで廃棄になるろ紙血（ろ紙に血液を染みこませたもの）を個人情報が分からない状態にしたのち、東京医科歯科大学難治疾患研究所（佐藤憲子准教授）においてエピゲノムを解析し、それらのデータを集計します。また、性別、在胎週数、出生時体重の情報も解析に用います。そこから明らかになった医学的な情報などはホームページ等をつうじて社会に周知します。

本研究では患者さんの新生児から得られた血液ろ紙を分析させていただきますが、前述のとおり患者さんの個人情報に含まれません。また、この調査を行うにあたり、患者さんにご負担をおかけすることはありません。

4. 連絡先

本研究についてのお問い合わせは、次の連絡先をお願いします。

研究代表者 島根大学医学部附属病院小児科・教授 山口 清次

連絡先： 島根大学医学部小児科 電話 0853-20-2219（医局）

FAX 0853-20-2215（秘書室）